



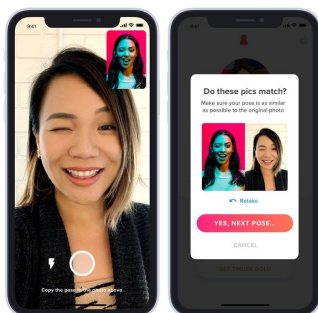
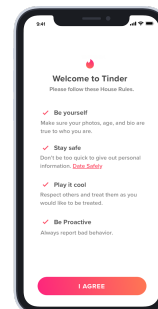
毎日、毎日世界中の人たちが新しい出会いを探すために、Tinderを信頼して利用しています。これには大きな責任が伴うため、メンバーが常に尊重され、すべての体験が安全でポジティブなものとなるよう、アプリを日々進化させ続けています。

スワイプからメッセージやビデオ通話まで、安全性に重点を置いたTinderの10の機能をご紹介します。

#1

Tinderのルール

アプリに登録する際、メンバーはスワイプを始める前にTinderのルールに同意する必要があります。これはメンバーがTinderから最初に受け取るメッセージであり、安全と尊重に焦点を当てたものです。行動規範をここで共有することで、閲覧数が57%増加し、より多くの新規メンバーがTinderの安全に関するヒントを理解することにつながりました。



#2

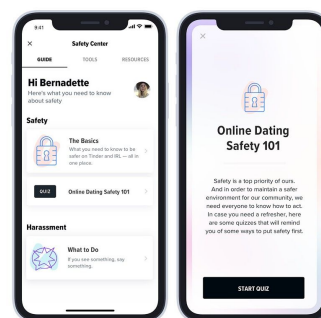
写真認証（仮名称）

プロフィールを作成し、写真を追加したメンバーには、Tinderの写真認証機能を活用するよう推奨しています。この機能は、プロフィール写真を、表示された写真と同じポーズで撮影した自撮り写真と比較することで、写真が本人であることを認証するものです。認証済みのメンバーのプロフィールには青いチェックが表示され、Likeされる確率も高まることがわかっています。

#3

セーフティーセンター

Tinderのセーフティーセンターは、アプリから開くことができるインタラクティブなページで、各地域のリソースや記事、ヒント、クイズなど、安全性とプライバシー機能に関するさまざまな情報が含まれています。プロフィール画面やメッセージ画面に表示される盾のアイコンから、いつでも利用できます。セーフティーセンターは、TinderがMatch Group諮問委員会と外部のNGOパートナーと共同開発したもので、メンバーの保護はもちろんのこと、アプリ上のやり取りや実際にマッチした相手に会う際に、より多くの情報に基づいた判断ができるよう教育することを目的としています。



#4

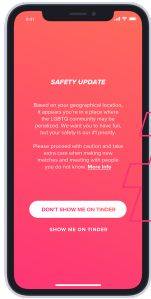
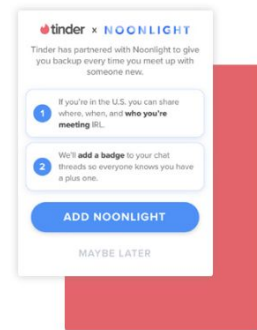
ビデオ通話

Tinderのビデオ通話機能は、制御と快適さを第一に考えて作られました。アプリ内でビデオ通話することにより、メンバーは個人情報を明かさずに、オンラインで顔を見て話したり、マッチした相手が本物が確認したり、実際に会う前に相性を確かめたりすることができます。

#5

Noonlight (日本未導入)

Tinderは緊急対応サービスや個人用防犯アプリを提供するNoonlightと提携し、米国のメンバーがツールを無料で利用できるようにしています。このようなパートナーシップを導入したのは米国が初めてで、Tinderは他の市場でも同様のツールの導入を検討しています。



#6

トラベラーアラート

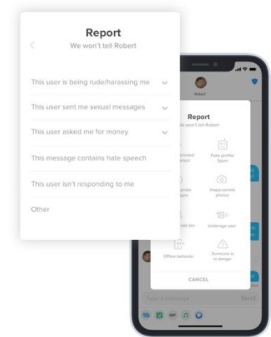
LGBTQ+のメンバーがLGBTQ+に罰則を与える法律がある国を訪問したり、Tinderのパスポート機能を使ってそういった国でスワイプしたりする際、その地域でプロフィールが表示される前にアラートが送られ、プロフィールを非表示にするか選ぶことができます。Tinderは旅先での出会いに最適な方法ですが、メンバーの安全が最優先です。

す。

#7

違反報告

Tinderは、[コミュニティガイドライン](#)が遵守されているか確認するために、メンバーの行動を迅速に評価する報告フレームワークを採用しています。メンバーは、問題のあるメンバーのプロフィールから直接報告したり、セーフティーセンターから連絡を取ったり、Tinderチームにオンラインでいつでも連絡することができます。報告を受けたチームは、コミュニティをより安全に保つために適切に対処します。



Hey, we removed your bio because it contained this policy violation: Private information.

We want you to have fun here, but in order to avoid getting banned you need to make sure your profile doesn't violate our [Community Guidelines](#). Sound good?

[View Community Guidelines.](#)

#8

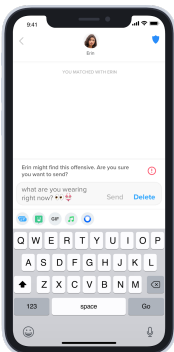
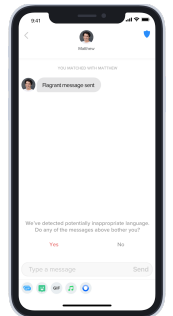
プロフィールガイダンス (仮名称)

プロフィールガイダンスを提供することにより、Tinder上で許容されている行為をメンバーに理解してもらうとともに、個人情報を保護することもできます。例えば、メンバーに多い間違いの1つに、電話番号などの個人情報をプロフィールに記載してしまうことが挙げられます。ガイダンスはこのような個人情報を削除し、メンバーにその理由を伝え、自己紹介を書き直す機会を与えます。

#9

不快なメッセージ受信検出 (Does This Bother You?)

メンバーが不快に感じる可能性のあるメッセージを受信したことが検出されると、メッセージを受け取ったメンバーに不適切であったかどうかを問いかけます。「このメッセージは不快ですか?」という質問に「はい」と答えた場合、メンバーは相手を報告することもできます。この機能により、いやがらせの報告が37%増加しました。



#10

不快なメッセージ送信防止 (Are You Sure?)

メンバーが不快に感じる可能性のあるメッセージを送ろうとしている場合に、「本当に送信しますか?」と送信者側に問いかける機能です。Tinderは不適切なコンテンツの報告に頼るだけでなく、未然に防ぐことも目指しています。必要に応じて、このような機会を使ってTinderのコミュニティガイドラインをメンバーに教えることもできます。メンバーが悪質な行為や不適切なコンテンツの送信をやめない場合、Tinderから削除される可能性があります。